

2024.3.15

田村まみ組織内参議院議員、予算委員会で質疑！

年収の壁の解消対策、 物価高と賃上げ・価格転嫁への対策について 質疑を行いました



岸田内閣総理（左）、田村まみ議員

https://youtu.be/A_1Sagl1d0Q

田村まみ組織内参議院議員、発言抜粋

年収の壁の解消対策について



まみに聴かせてキャンペーンに寄せられた声

「年収の壁問題を解決してほしい」

「賃上げにより雇用保険喪失手続きしなくてはならない従業員が増えてしまう」

「根本の社会保障制度改革が必要」

「一時的な対応だけでなく、抜本的な対応・改善に向けて国政へ投げかけ続けてほしい」

- 昨年総理が対応を約束した企業の配偶者手当の見直しは進んでおらず、逆に後退しており、課題認識のズレが対策のズレにつながっていることを指摘しました。
- 昭和の高度経済成長期につくられた年金・健康保険等の諸制度とそれに基づく社会通念、家族観が時代変化に対応できず、女性の働き方の選択を歪めていることが年収の壁の課題の本質であることを指摘しつつ、年金・健保等の制度、特に第3号保険者制度について、期限を明確にした見直しを求めました。

- 制度改革の先送りによって雇用保険から外れてしまう人が増えること、また雇用保険の適用拡大（週10時間以上）について、2028年施行では遅すぎることを指摘しました。
- 長年保険料を納めたのに雇用保険から外れた後に失業してしまい給付がもらえなかった事例も報告しつつ、引き続き厚生労働委員会での議論を求めました。

<https://youtu.be/aS03xuLXxyY>

物価高と賃上げ、価格転嫁円滑化について

まみに聴かせてキャンペーンに寄せられた声

「物価上昇と賃金上昇が釣り合わない。企業の賃上げに国がもっと強く働きかけて欲しい」

「賃上げは大企業で働く人たちだけのものではないはず。中小企業で働く人たちにも賃上げを！！」

「可処分所得が増えません、そもそもの支給額が増えるように人件費の価格転嫁サイクルを促して欲しい」



物価高と賃上げ

<https://youtu.be/ejX9FybukW4>



価格転嫁円滑化

- 3月13日に春闘の山場があり、賃上げについては大手企業を中心に短時間労働者も含め好結果が出ていますが、中小企業の賃上げはこれからであり、13日の山場の政労使会議で終わりみたいな形とならないよう、地方版だけではなく、中小企業の賃上げに向けての政労使会議を持つタイミングを定期的に設けることを要望しました。
- 価格転嫁の円滑化パッケージについて、消費者の理解を得ることの重要性を訴えました。2年前の山際大臣とは異なり、新藤大臣からは、「消費者が転嫁に対する理解を持つことは重要である。物価高をこえる賃上げや可処分所得の確保が理解促進にもつながり、まずは所得アップを目指す」との回答があり、一定の認識を共有できた点は一歩前進しました。
- 少なくとも、実質賃金が安定提起に上昇するまで、積極的、機動的な経済対策を求めました。
- 中小企業庁の下請けGメンは、一般的な「取り締まり」のイメージとは異なり、中小企業に寄り添うものであることを確認しつつ、その認識を広めることにより、回収率が1割しかない「価格交渉のアンケート調査」の回答率を上げ、効果的な対策を進めていくことを訴えました。